而后發句集

863
121

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

863-121

序

古德曰。人皆所好。石各
隨所好。以度日而已矣。但清濁
不同耳。吾清則或好山水
或好此物。又進之。又進之。只
好玉於淨其如。而世出世間之
好最後矣。亦視而后與之法

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121
ガラス使用

蕉。桃諧之清致。句之澹白。有
能淨理。迎古人之好吟哦者
為序。予告歸。因録新稿以
歳在癸丑秋九月

前住大森恭小禪顆

而后発句集巻之壱

春

蒙上

元旦

ゆるやかに明わたる鶴や春の空

水鳥の雲をねらふや初うらら

俤眼に花あるを

めでたうてうらうらけをぼめ初日哉

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

海老殺生禁のうけさせ給ふなり
抽味噌の麻れうかえて
不雪毋方
初ものもらるる西をさらるる恵方哉
茅
蜘蛛をもらうる畑乃わうなれ
来るのたそかれもさの雪きり
きう義長

人のちるあとよ日比照るとんとうな
梅
ふるさとく梅よはさまる水う郷
四の郷のふく梅例やうめれ茅
矢朝の川上城戸とそ雨そて
汁の家そ植す村中うめ家
なくて咲ろそほそまり梅花
梅さかや生るいゆるわとそ伸り

小野寺姫を素納

心一ゝる月を木の間ふ梅ほし

明ゝ梅よ今年ゝ月やうめ花

尾山月の影よ梅ゝて

山里や梅の香ふ内ゝ扇

内ゝゝゝ起ゝゝよ梅ゝ花

ゝ梅やつぼみ古ほゝてゝゝゝれ

雪

芙蓉ゝ峰ゝゝゝゝゝ様蜜ゝ

うゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝぬゝのゝゝち

雪や秋ゝふさく海の奥

雪前

うゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

芙ゝゝ吹ゝ吹ゝ所ゝ様

柳

蓮ゝゝ

あるときのよ酒こぼしてみる柳かな

坂ちるは月のまきさやかなるなな

ぬきもせぬ手仕物のある柳かな

雪あり

二三日を乗ぶつてをるかなみれば

春の暮とまるかの紙よ枝をひきるの

月をこれるとまあ紙の私ん

妙山寺ほうりの八ちれかもと二枚

きくれるやしよ枯るをたかまれる

みちのくまぶもいるるかり

ゆきてをぬるこの砂や鳥かきを

まつを　雪解

泡をこぼ四よあるれ鶯よこう

ふるをきをを鶯の鶯をけり

夏ふ人のみれなるもし雪解を

春雨

[illegible]の[illegible]の[illegible]の

[illegible]

出代

[illegible]

出代や宵つくまでの振さいろ

接木

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蝶

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雀子

立ちて雀子鳴くや野の雨

乙鳥

ひばりやみちを畑の宮

大根引れ面ふる沼乃つゝみかな

雲雀

峠中や掛るひばりの曇り

星崎ふく

村ちゝみふる海や峠雲雀

雉子

雲那やきし鳴雉子乃はゝ

掛茶や雉の来て居る寺の庭

花

鳴ゝ寺のゝとあけるや花の上

日ゝてきて鳴ゝつゝる山櫻

みゆの雲ゝ東なきゝ一面花

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121
ガラス使用

閑ノ家よりかぶるいなづま

一指つゝある家さとよりたちかなし

東山

名所よ遠回さるく見えう紅

嵯山

家のおもて一ぱいこかはきり

小倉

雪降るや雲れまことを時つくる

今朝さきれやらぬふまをみるさく

安理

ちてからさるやうしけく見はる春

きれるものあるものかなかの春のはる

吉野花の移ひ元信の山て

なりて

ちるものさくるものの長閑なり

東京陵

[illegible]

[illegible]

いさまし[illegible]

[illegible]

[illegible]

はつなつや[illegible]

若葉[illegible]

細い[illegible]

[illegible]

[illegible]

峠[illegible]

上巳

[illegible]

[illegible]

日あし[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

[illegible]

[illegible]神の蔦
[illegible]村[illegible]みうれ原

陸

[illegible]町や石垣の門乃はち　陸

[illegible]

山中[illegible]

[illegible]の[illegible]

雜春

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

而后發句集巻之二

夏

[illegible]

[illegible]

夏衣

[illegible]

[illegible]

卯花

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

[illegible]

はる

[illegible]

池ふる[illegible]てきし[illegible]

うとうとみハ

はるの人のゆきくれまを見けり

二の[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

牡丹

地形一九町を拾ふ　牡丹園

芥子

牛[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

牧地　牧

ぬきぬきの風のまゝなる牧野哉

こゝろゝし牧ハ入れとなりてこゝろ

蟬な

鳥町や二階ゝゝ出て小れ雪番

五月雨

さみだれや鶏ゝよ鶏ゝよ鶏ゝ

五月雨や旅人なくて雨やとる

引かへてみを隠ゝ五月雨

はみ出ゝ形や出ゝ出ゝの石の音

四柱

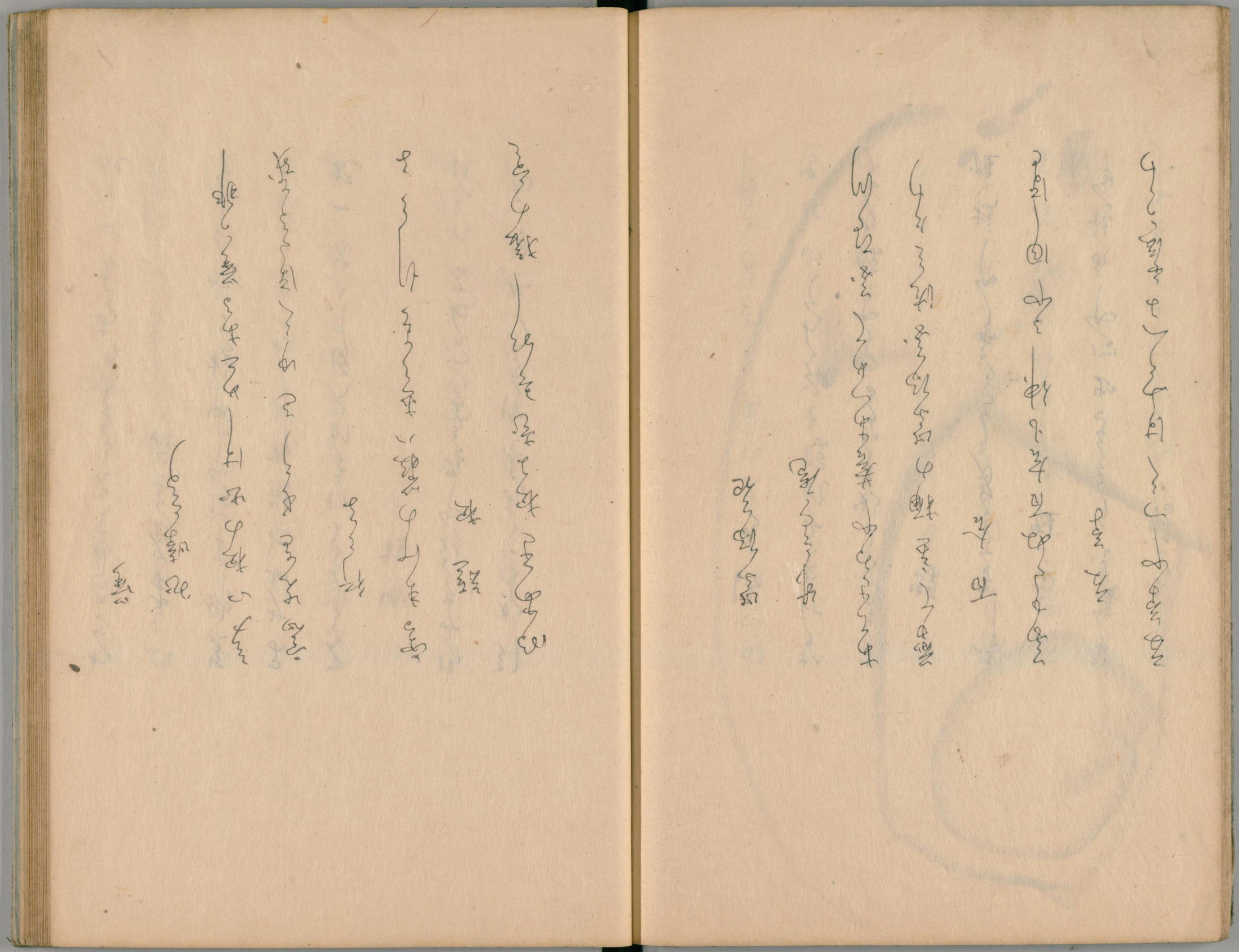
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ苗一把

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『西后発句集』　請求記号 863-121
カラス使用



[illegible]

[illegible]

面壁

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夕立

ゆふだちの雨ふりあがれる

夕立の雲とんみちゆく一田面

雲峯

村さめや柳のうへの雲の峯

蓮花

蓮の花ちりてそこ迄来しまんまる

星

そらにつき神隠しとなる星ちりなし

原

郡家を川せうし八方こかすんのまつ

なりしよりの縁をいとはりの年よ年

なて義みの弟ちる人もれられハ

うちの黒さなかなくもんとうれ

りはそ人のつめあそ原しと

白とうなこそとうれうちそ

あるぶんの紙しるるうめ

歩のうしまのさくぬきしまし初ち桃

二ゝ和戸ゝ和一扉ゝゝゝゝゝゝ

まあけゝ湖上おとれるうや湖ゝ舟

ゝゝ見やぬゝやるゝうち咲ゝ

蝶子

かゝゝゝゝやゝゝゝのすきるゝけゝ

移河

みれゝゝゝみゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

移河

不自由ゝゝて何ゝおゝぬゝ反空家

印度山晩望

かゝゝみゝとハいゝゝあゝゝゝ反紙ゝゝゝ

而后發句集之巻

秋

初秋

そのあさや陽を落葉乃逸歩り

あるは雖まて

初秋や者屋れ袁北川原之

星夕

枝刈を見ひと暗や星祭り

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あさがほや蕎麦屋漆

萩

ちるあとも日和よし萩の花

ひのくるまや萩をのこれる田一はい

玉川

夕かすみや砂よ呼ふまぶの声

めぐる花

新しき地をかすめてしぐれ

油屋の踊りのあとやかるたも

芭蕉

枯しをれ新しきなる

心つかれと言まるや芭蕉の極

蓼

蓼の葉はあるやきりぐす

花の姿をうたれる仏よ

ちるれなるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

月

初月と燈ともあるや庵の窓

出て月を照らしてうなる水とうな

矢矧川を渡りくる

落雲や月くくもむ月枕

ちりつもり八重桜よりつる月ろうな

耳きゝぬ人きゝ知て畑の月

埼玉郡の月に濱辺哉

きゝ慣も儀の中て廣し月の庭

雲つきくく松よりかゝぬ月の月

なるゝ月山ゝ出るうな月枕うな

うちつゝきうちつゝきうち月ろれさしめて

時々雨八

まゝゝや あめ降きやう二月ろう

師業

名月や海とゝみ「仁」を伝ふ

新茶

あらたに出てやすらふ閑の月

入る

ふる舟み押出すく十六夜

立秋

まうしかるはうつの月を矢きたる

新蕎麦屋ふる人墳

在明や岩ぬけよりと九月尼

ふるさとと春の雨ぬ張り尼の月

新酒

開の縁ふるる縁酒をなつかく

今年新まち

きさま味の引ふるる新酒哉

稲

名残ひく根ハ明まりて稲の実

熟まりた蕎麦ふ陽ふる稲の花

芋

[illegible]芋ハむのまゝ

唐茶

石見西さゝ後ゝ拂るや唐茶

拂てさゝ茶ゝ実ゝ唐かゝ

安ゝ山ゝ

さゝい〳〵と雀の拂ゝ寺東ゝ弥

望茶　放生会

[illegible]の[illegible]はゝう[illegible]ふかや小百姓

仲生会ゝ信ゝ[illegible]ゝ係ハ所放生

拂ふ部とある稲ゝ[illegible]

実て[illegible]ゝ魚やけなゝ放生会

秋雨　秋水

[illegible]ゝ[illegible]る湖のけゝ[illegible]や秋乃雨

小松とゝふゝ[illegible]

あゝ[illegible]やちゝの[illegible]ゝ秋の[illegible]

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

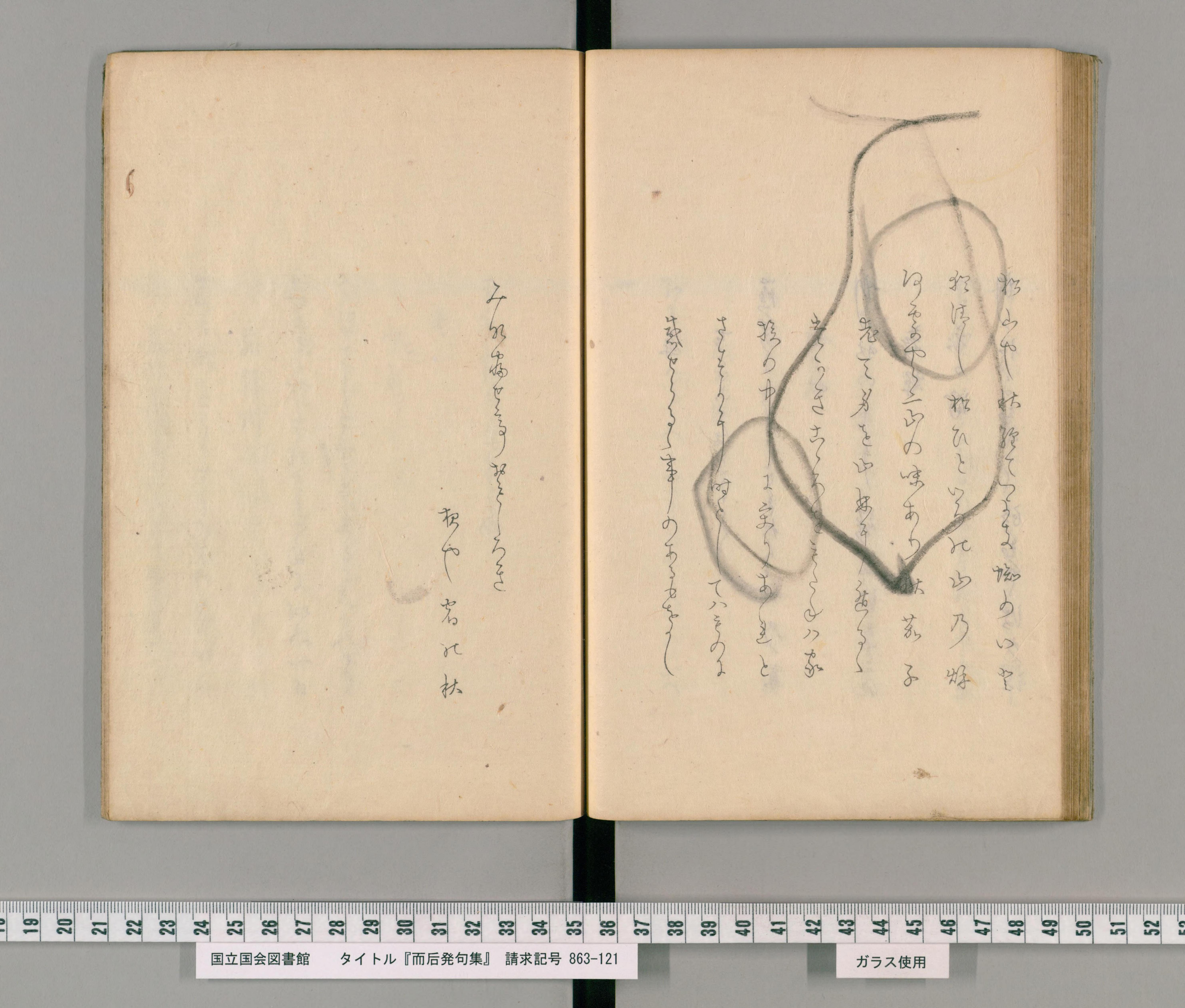
国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

[illegible]

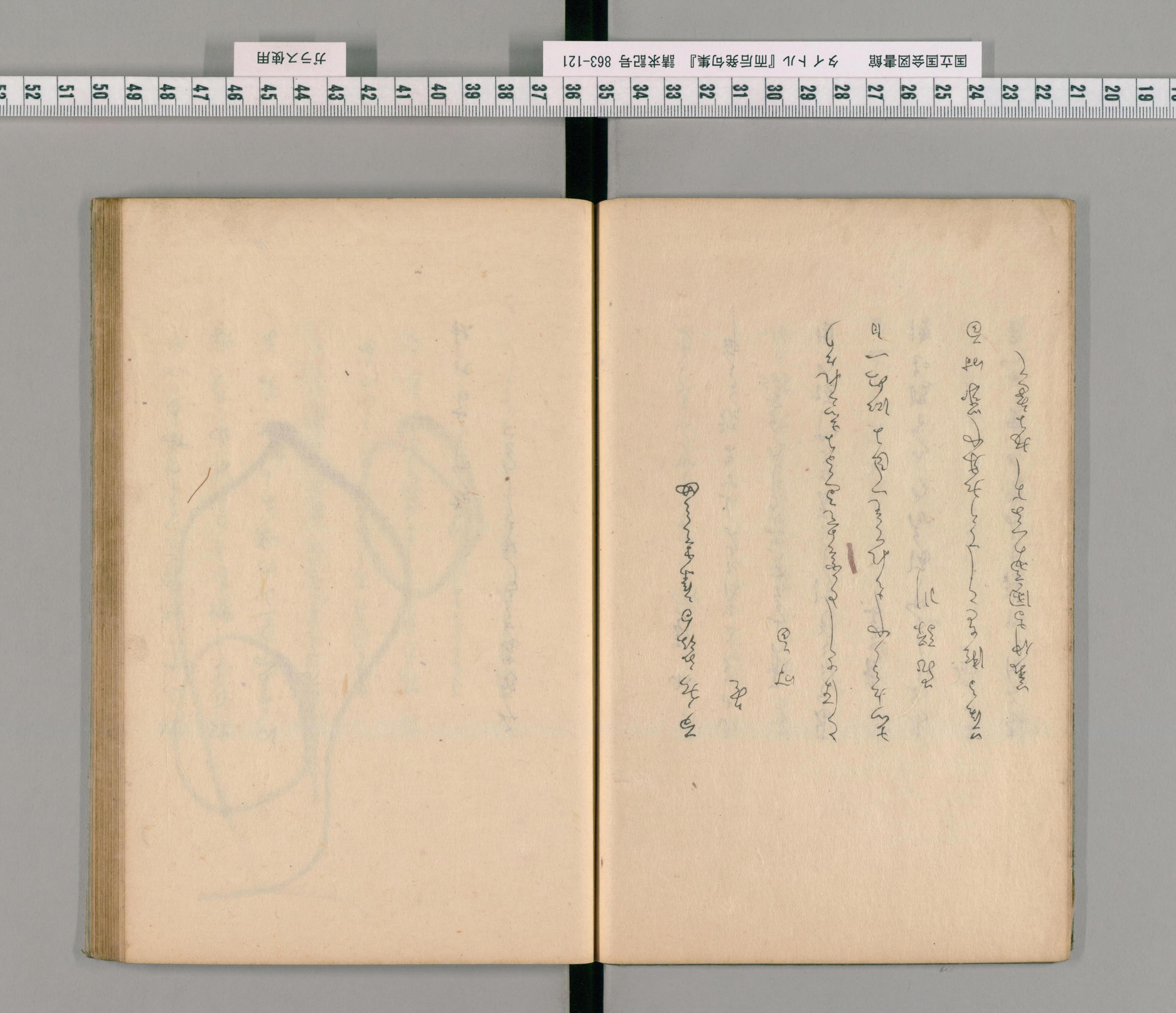
[illegible]

[illegible]



国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『西后発句集』請求記号 863-121
がラス使用



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小春

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大根蒔

ひとつとつ蒔しそばや大根引

蒔きうゑの菜を交ぜて大根蒔

菊なれ知るや大根あまき根のうなゐ

みそこ

菜畑の回りつゝきをゑ

蕎

蕎の実ゆるちとうはるる日わてのれ

ほうてうちと根のうゑやきぬぼて蕎

蕎畑のけうちとうて搗大うれ

蓮実

うつゝ実や寒て蓮ぬ生て

情ある匠蓮ぬ自慢うれ

搗

こゝまて牧そゝの時や搗ぬ

ず、ゑて搗の多ぬれ新くち

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

[illegible]

はつゆきや掛る竹さらさらと

ふるうけて一ひら雪よ弥生哉

山はなり降るも雪のあま日和

見てとなるよりちらのいるや枝の雪

待てあるもよ雪つるる冬田の郷

降ぬ雪や雪やまちとも枝の影

述懐

如ちらくも拾ふひとまや雪の郷

家さして家一ほのぼや雪あけ

雪ちるまち雪ぬ入日かな

雪

雪ふつるちゝ雪ふるよる神の雪

龍ヶ峯

ふるりや水のまの下れまそら

雪数

[illegible]

氷

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

[illegible]

餅搗

[illegible]

年忘

[illegible]

年市

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

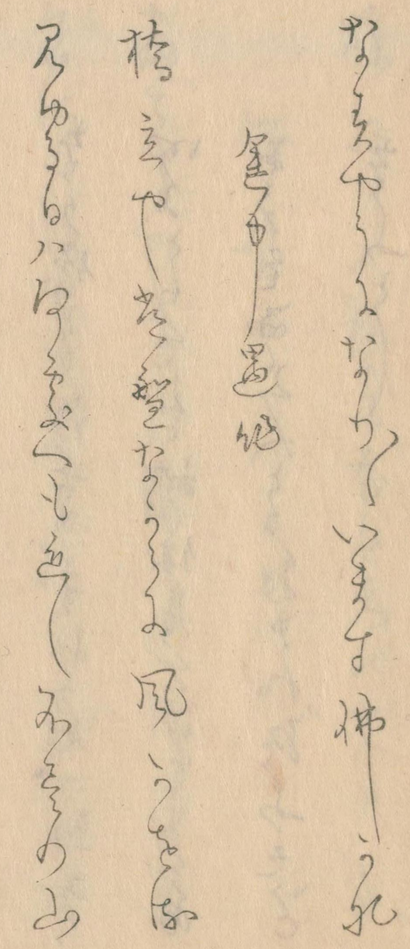
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

紫影文庫

14201



国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121

ガラス使用

863
121

嘉永六年癸丑九月

名古屋茶屋町

伊藤氏蔵板

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』　請求記号 863-121
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『而后発句集』 請求記号 863-121

ガラス使用